

第40回 青梅市公共交通協議会

報告・協議資料

目次

区分	項目	資料の骨子	ページ
報告事項	1. 前回協議会の振り返り	－	2
	2. デマンド交通視察	・令和3年10月22日に、第37回協議会(令和3年3月開催)で事例紹介のあったデマンド型交通サービス「チョイソコ」を事務局が視察	2
	3. 広報おうめへ掲載した利用促進記事	・令和3年11月15日号に掲載	11
	4. 小学校交通環境学習	・令和3年12月10日に、モビリティ・マネジメントの一環として、吹上小学校2年生を対象に、座学とバスの乗車体験を実施	12
	5. 東京都交通企画課との意見交換	・令和3年10月29日に、東京都と持続可能な地域公共交通網の在り方等についての意見交換を実施	17
協議事項	1. 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について	・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価および令和2年度青梅市公共交通協議会(東京都青梅市)の事務局案	18
	2. 青梅市の公共交通に関する課題整理(一部)	・第39回協議会において、整理した公共交通の状況等をもとに、課題を整理	19
	3. 市民参加型の公共交通利用促進策の提案	・公共交通写真展、公共交通サポーター、公共交通検定、青梅線を活性化する応援隊の提案	27
	4. 市民アンケート案	・実施概要、課題抽出の視点と構成案 ・資料2に、御願文と調査票	32

報告事項

1. 前回協議会の振り返り

○前回の第39回協議会は、令和3年9月27日(火)午後3時に開催されました。

第39回青梅市公共交通協議会の資料の一部の骨子

項目	骨子
河辺町1～3丁目地区アンケートのクロス集計結果	○単純集計結果とクロス集計結果を示しました。
青梅市地域公共交通計画(仮称)の検討	○策定の背景・理由と、策定するための調査の枠組みについて示しました。
青梅市の公共交通を取り巻く情勢把握	○時代潮流、法律の改正、上位・関連計画、既往の世論調査における市民意向を示しました。
青梅市の公共交通に関する状況把握	○町丁別の人口動向、主要な施設の立地状況、公共交通の状況を示しました。
市民等のニーズの把握	○年明け実施予定のアンケートの概要(案)を示しました。

2. デマンド交通視察



(1) 視察実施の概要

項目	内容
視察目的	・第37回協議会(令和3年3月開催)にて、事例紹介のあったデマンド型交通サービス「チョイソコ」の詳細を知るために、開発者兼運営主体である株式会社アイシンと、事業主体の1つである豊明市を視察
視察先	・株式会社アイシン(刈谷市相生町1-1-1) CSSカンパニー ビジネスプロモーション部 チョイソコ企画グループ ・豊明市 行政経営部 企画政策課
視察日時	・令和3年10月22日(金) ・11時～13時に、株式会社アイシン ・13時30分～15時30分に、豊明市(試乗)
視察者	・青梅市:1名(河村) ・株式会社アルメックVPI:3名(高尾、倉岡、今井)



アイシン社内



豊明市庁内

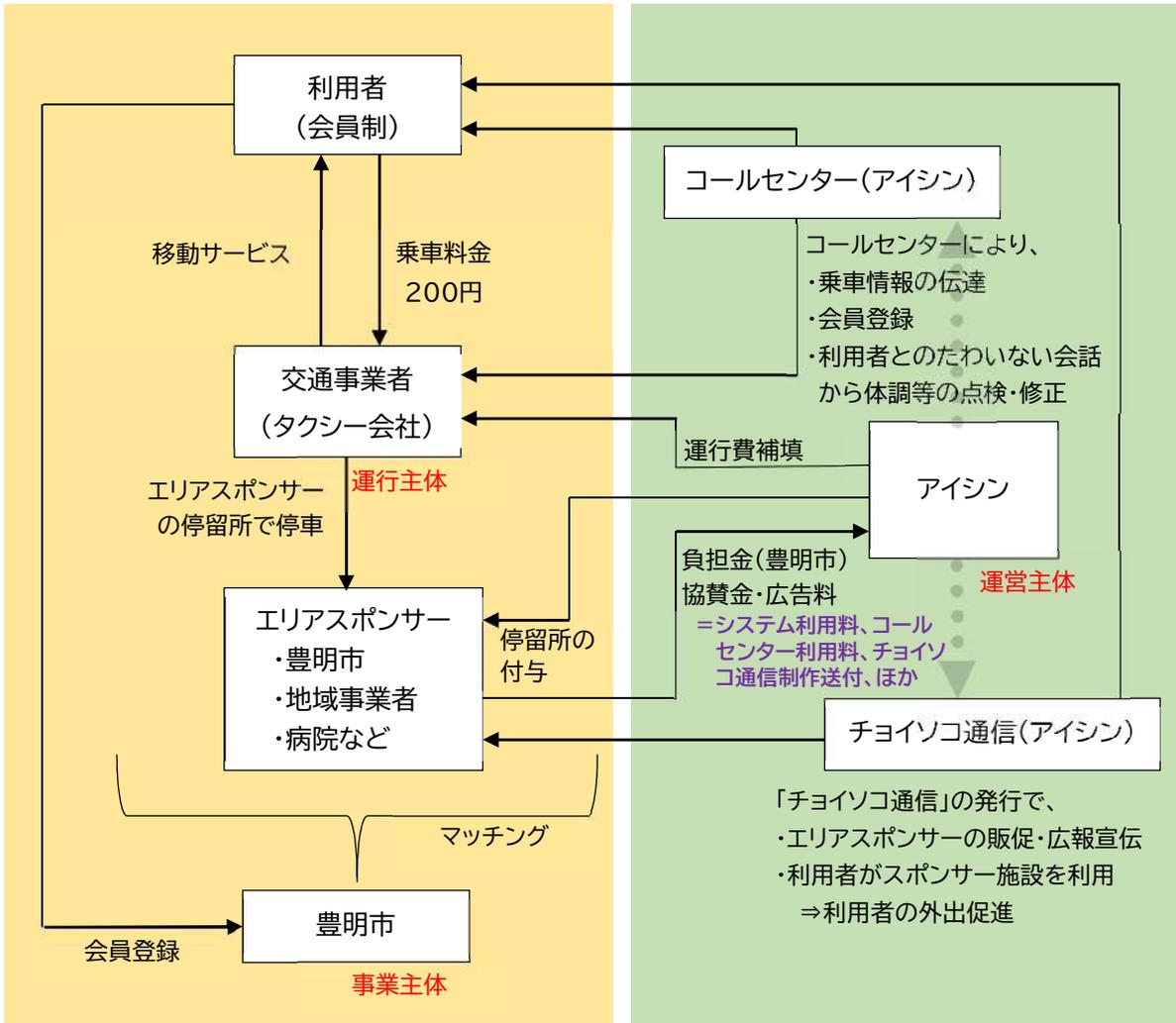


チョイソコ車内

(2)「チョイソコとよあけ」とは

○運賃収入のほか、エリアスポンサー(協賛企業は停留所の設置が可能)から協賛金を得ることで、持続可能な運行を目指す、運営主体がアイシン、事業主体が豊明市のデマンド交通のことです。

「チョイソコとよあけ」の事業構造

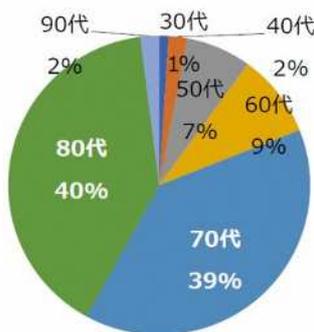


豊明市内の動き



アイシン内(刈谷市)の動き

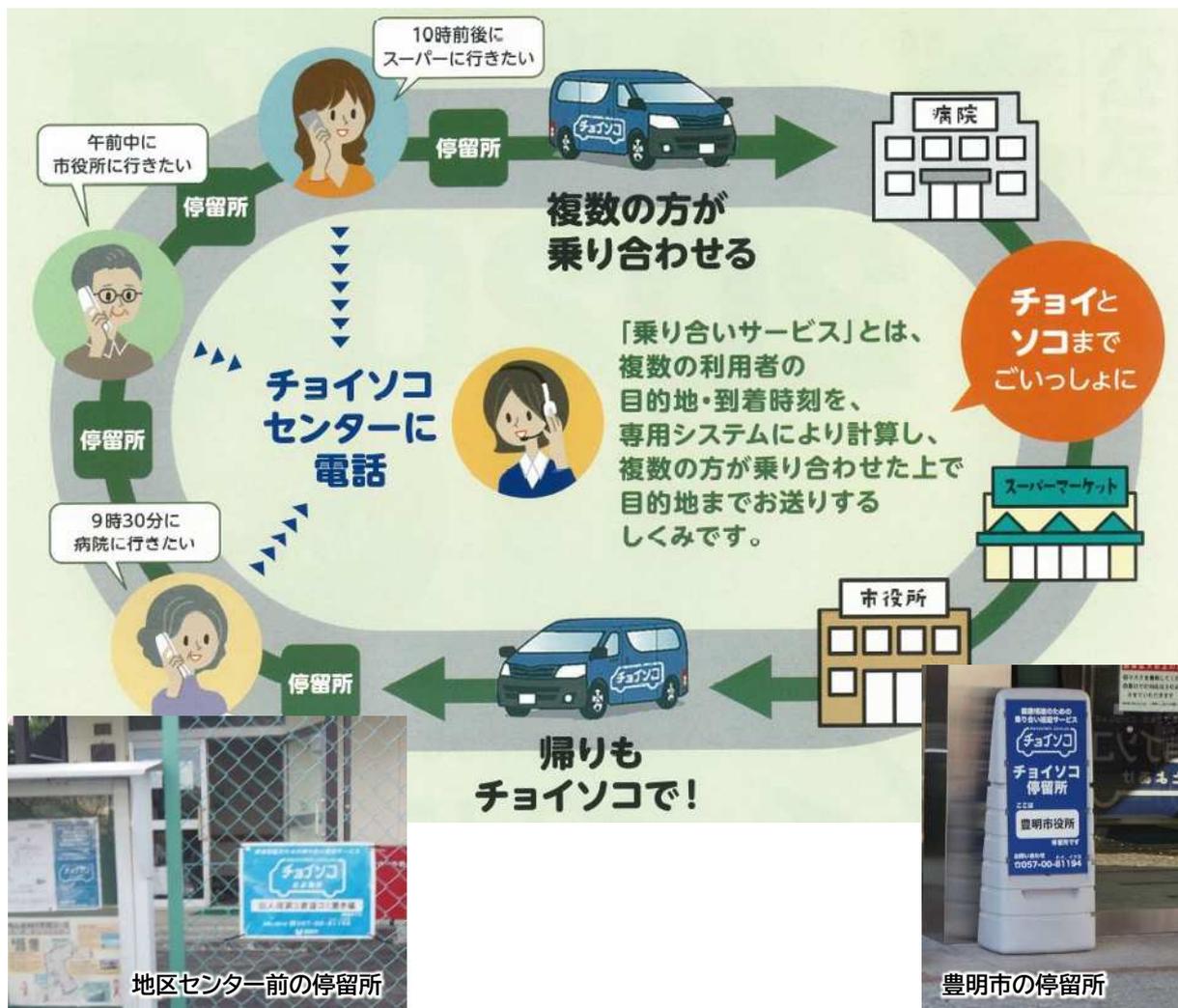
登録会員の年代別内訳



利用回数の目的別内訳



参考図



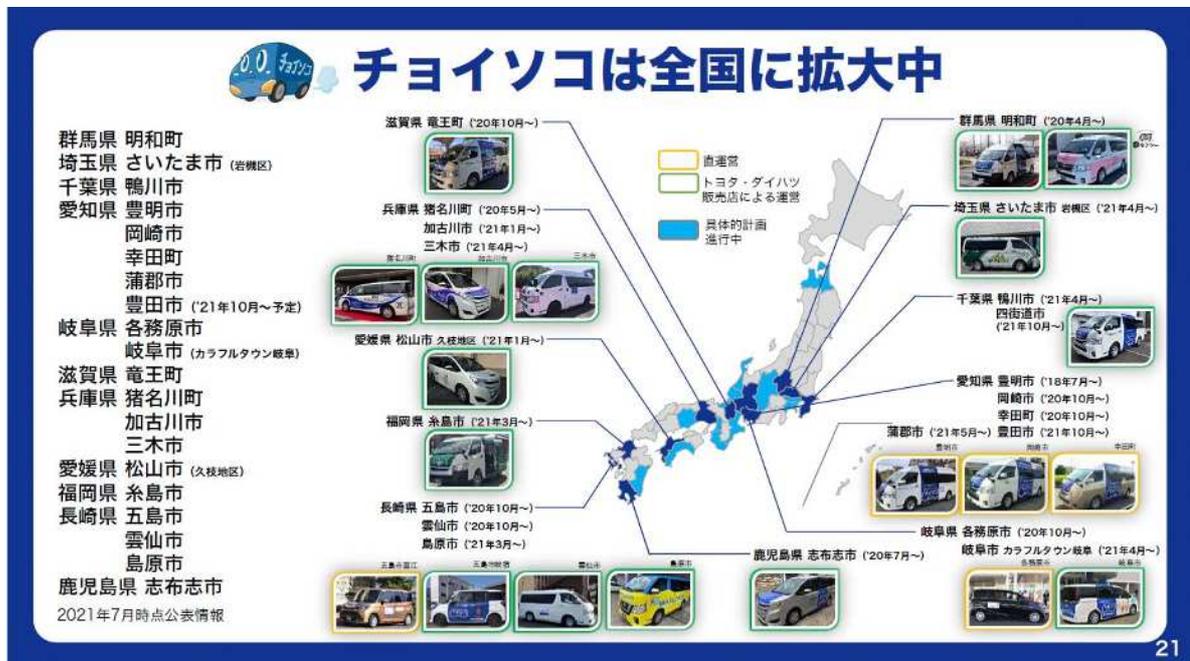
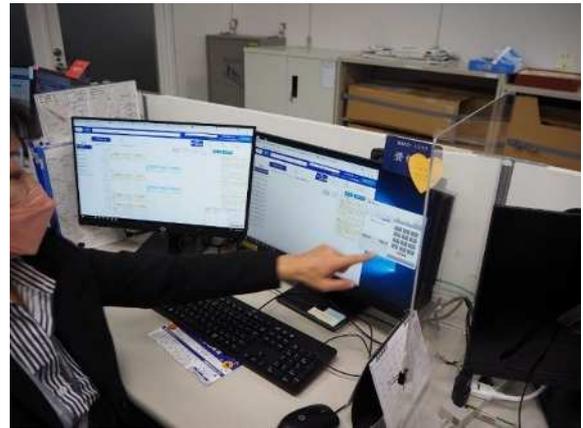
利用者 ・ 地域のタクシー ・ エリアスポンサー で繋ぐ

地域一体型の新しい運行プラン“Choyoisoとよあけ”



(3)コールセンター

- 刈谷市にあるアイシン内にあります。
- 会話のなかで、鍵の忘れ、体調の様子などを確認することもあります(機械的ではなく、親しみを持った会話をされています)。
- 全国各地の利用者に対応しています。



(4)車内

- コールセンターからの指示で運行します。
- 乗車時に200円



(5)会員登録

- 豊明市内在住で65歳以上の方
- 豊明市内在住で障がいのある方
- 交通不便地域に在住の方



14:40着	仙人塚第3資源ゴミ置き場 (住所登録なし)	降 5名	地図	
14:42発	仙人塚第3資源ゴミ置き場 (住所登録なし)	乗 5名	地図	↑
14:46着	バルネス前後	乗 1名	地図	
14:47発	豊明市役所	降 5名	地図	
14:53着	豊明市役所	降 5名	地図	
14:54発	豊明市役所	降 5名	地図	
15:03着	中京競馬場舎宅前 (住所登録なし)	降 1名	地図	
15:04発	中京競馬場舎宅前 (住所登録なし)	降 1名	地図	
15:09着	藤田こころケアセンター	乗 1名	地図	↓
15:10発	藤田こころケアセンター	乗 1名	地図	
15:15着	みずのクリニック	乗 1名	地図	
15:16発	みずのクリニック	乗 1名	地図	
15:19着	みずのクリニック	乗 1名	地図	

乗客も見る 戻る

(6) エリアスポンサー

- 協賛金や広告料の代償として、事業者停留所が付与されます(ただし額に応じる)。
- 市役所を除き、協賛金や広告料の総額は、収入の2・3割になるとのことです。

事業者停留所を示したマップの一部

店	40	前後整形外科内科クリニック	
車 豊明北支店	41	前田デンタルクリニック	
車 豊明支店	42	西尾信用金庫 豊明支店	
マピジョン	43	マックスさかえ教室	
	44	古民家カフェ 和み亭	
完	45	藤田こころケアセンター	
外科	46	相生山クリニック	
福祉協議会	48	ふくでん会 豊明苑	
パブダム 豊明	49	前原外科・整形外科・小児科	
月三崎店	50	タックメイト豊明駅前店	

豊明市市内 1 階ロビーにあるエリアスポンサー名付きのついたて式の看板



スポンサー料
(参考)

プラチナ
月 10 万円
ゴールド
月 2 万円
シルバー
月 1 万円
ブロンズ
月 5 千円

(7)チョイソコ通信

- アイシシが、エリアスポンサーの意向などを踏まえながら、利用者向けに発行しています。
- エリアスポンサーの販促・広報宣伝となり、利用者の外出促進の“コトづくり”につながります。

チョイソコ通信 vol.28

あっとい瞬間に車を感じる季節になりましたね。皆様風邪をひかないように気を付けてください。しっかり防寒の装備を整えて、引き続きソーシャルディスタンスには充分に気を付けてチョイソコを利用して出かけてみましょう。

豊知トヨタ 豊明店 10月からチョイソコの停留所になりました！

10月から開催している「スマホ教室」でもお世話になっております豊知トヨタ自動車株式会社 豊明店が10月からチョイソコ停留所に加わりました。奥村店長からメッセージをいただきました。

「これから高齢化が加速していき、車を手放す方もいればまだまだ車を利用される方もいらっしゃると思います。今後、全車種展開をしていくのですが、チョイソコ会員のみならずご家族の方にもできるだけわかりやすく、積極的に、最適な車を選んでいただけるようにサポートしていきたいです。」

コンパクトカーへの乗り換え、安全に配慮したサポカーなど、チョイソコのようなデマンド交通も含めて車の在り方が多様に変化していきます。心強いパートナーとして今後ともよろしくお願ひします。様々なイベントをこれからも開催していただけますので是非ご参加ください。

スマホ教室開催中です。 次の開催は 12/10(木) & 1/21(木)
 ＊各日複数回予定しています。開催時間については同封のチラシをご参照ください。 ●豊明市阿野町池下92-2 0562-93-8511

豊明の天然記念物「ナガバノイシモチソウ」を見ながらウォーキングを楽しむ

当日は、湿度50%台で気温3mという爽やかな風の吹く天となりました。ラジオ体操をしたら、さあ出発！大塚開湿地の多様な植物を増殖した後、ナガバノイシモチソウの自生保護地まで約2kmの道のりをノルディックポールを使用してウォーキング。前日まで曇り雨の不安定な天候が続きましたが、天気に恵まれ、気持ちのいいウォーキング日和を楽しんでいたかと思ひます。参加者からは「市内にこんなにステキなところがあったことを、知ることができて良かった」と嬉しい感想もいただきました。

チョイソコトピックス
 豊明市役所健康長寿課イベント

日時	内容	場所	チョイソコ停留所
12/3 (木) 10:15～12:00	楽しく脳トレしませんか？	けやきテラス	ふじたまちかど保健室
12/10(木) 9:30～12:00	健康マージャン	豊明寺	西原長命寺停留所を境に豊明寺までは約350m
12/15 (木) 14:00～15:00	長寿の学び場「ヒートショックとは？」 共催：豊田医科大学地域包括ケア中核センター	森工舎第一階 イベントホール	豊明市役所
11/27(木) 13:30～15:00	スポーツ大会 クリスマス会 (コーラス練習なし) 健康長寿課	けやきテラス	ふじたまちかど保健室

お問い合わせ：豊明市役所健康長寿課 0562-92-1261 ※参加時はマスクの着用、検温、手指消毒をお願いします。

「みんなで作るとよあけお出かけ地図」 12月末日まで実施中！ご登録お待ちしております。スチール製紙5,000部分装プレゼントします。

豊明の日に染がったパンチングシートを一緒に作ってください。パンがふわふわです！

ご夫婦で畑に採り分けきれないお花を一緒に作ってください。お花はそのままでも楽しめます。♪豊明市役所健康長寿課。

お花には、ちゃんとお花をいただきます。♪豊明市役所健康長寿課。

イベントのお知らせ ★内容は同封のチラシをご参照ください。

- 1 **歴史講座** 豊明の歴史と地名の由来 会場：ネット東海豊明店 NetZ
- 2 **餅つき会&防災イベント** 12月28日(月) 場所：チョイソコ停留所 アイランスカフェ カカイ
- 3 **Coming Soon!** 来年1月開催予定 みんなで行こう！「ららぽーと東郷」

コロナウイルス感染予防対策とお願いについて
 ■チョイソコでは毎日、車内の手すりなどのアルコール消毒を行い、車内にはアルコール消毒液も設置しています。
 ■ドライバーにもマスクの着用、手指消毒を徹底しております。
 ■会員の皆様におかれましては、発熱などの自覚症状がある場合のご利用はお控え頂きますようお願いいたします。
 ■マスクの着用や咳エチケットなどの配慮をいただけますようお願いいたします。

チョイソコへのお問合せ ☎057-00-81194 (平日 8:30～16:00)

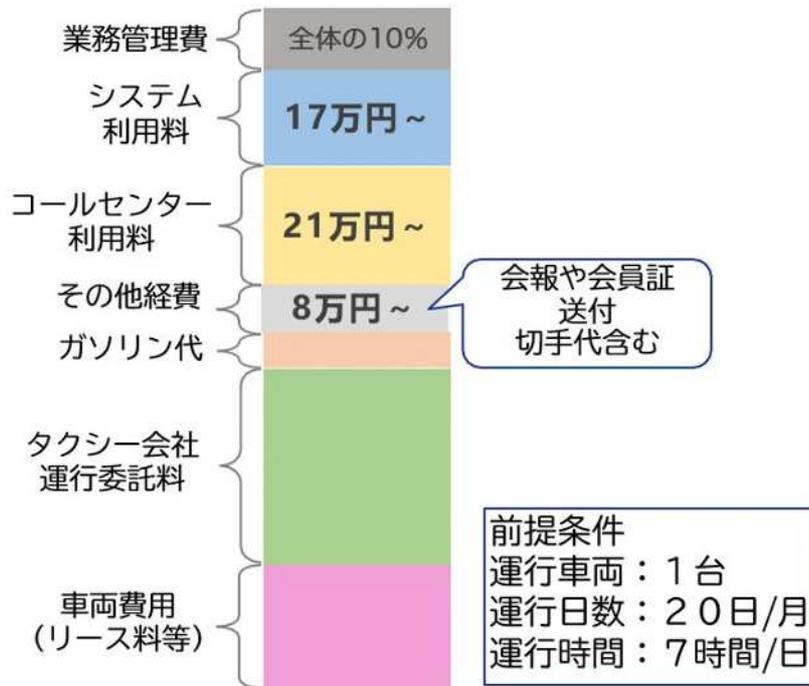
イベントのお知らせ ★内容は同封のチラシをご参照ください。

- 1 **歴史講座** へえ～！なるほど！知れば知るほど面白い！
豊明の歴史と地名の由来 会場：ネット東海豊明店 NetZ
 説明：豊明市役所生涯学習課 岸田裕夫氏
- 2 **餅つき会&防災イベント** 12月28日(月)
 場所：チョイソコ停留所 アイランスカフェ カカイ
- 3 **Coming Soon!** 来年1月開催予定 みんなで行こう！「ららぽーと東郷」
 詳しくは来月のチョイソコ通信でご案内いたします！



(8)運行コストの内訳イメージ

- イニシャルコストは、35万円
- ランニングコストは、1・2台で月2万円
- コールセンターは、自前で実施するのは大変とのこと。



■ システム利用料

初期導入費用：35万円（台数によらず初回のみ）

1～2台：17万円/月、2～5台：22万円/月、6～10台：28万円/月

■ コールセンター利用料

1台：1,500円/時、2台：2,400円/時…

■ その他経費

通信費、会員証発行送付、チョイソコ通信制作送付、乗降データ、等

(9)自治体負担分の低減

Q：スポンサーモデルでどの程度運行コストが下がるのか？

A：全体コストの20%以上低減した事例があります。

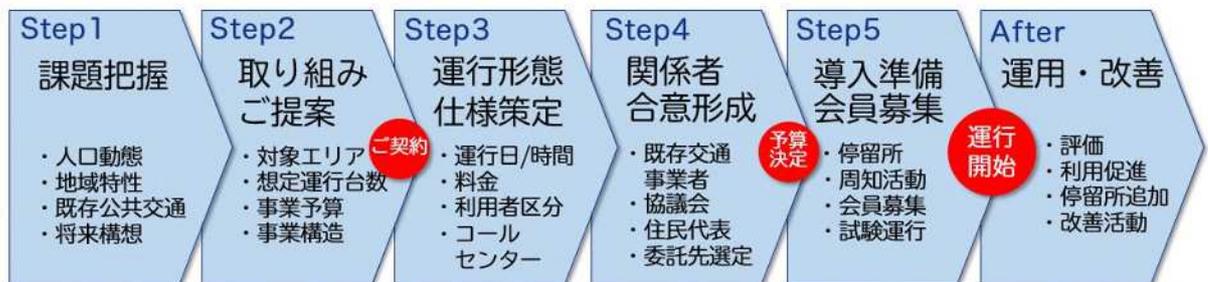
但し、スポンサーモデルが適用できるエリアと難しいエリアがあります。



(10)導入プロセス



チョイソコ導入プロセス



Q：タクシー会社やバス会社への理解活動は？

A：短期的な利害の視点ではなく、長期目線でまちづくりを一緒に考えていただくようお願いしています。

地域の交通事業者様とチョイソコにとっての共通の目標は「無理をして自家用車運転する高齢者」や「家族に負担を強いた送迎」から公共交通への移行であり、**お互いから乗客を奪うことではありません。**



3. 広報おうめへ掲載した利用促進記事

○市内の公共交通事業者の取り組みについて、令和3年11月15号に掲載されました。

広報おうめへ掲載した利用促進記事

**乗って守ろうー使って育てようー公共交通
市内の公共交通事業者のサービス・取り組み**

京王自動車
高齢の方や、子育てで忙しい方を対象に「京王すまいるサポートタクシー」のサービスを提供しています。また新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、乗務員のうがい、手洗い、車内消毒実施を励行しています。

西東京バス
「バスにおける新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」（日本バス協会作成）に基づき、安心してご乗車いただくための各種取り組みを実施しています。

都営バス
従来の1人乗りベビーカーに加え、2人乗りベビーカーも折りたたまずに乗車できます。

JR東日本
きっぷを受け取ることなく非対面・非接触で特急列車に乗車できる「えきねっとチケットレスサービス」、「新幹線eチケット」を展開しています。またJR東日本アプリ/どことレでは、時刻表や現在の青梅線の列車の走行位置などを案内しています。

西武バス
運転席横のカーテン設置、前方の座席の封鎖、車内換気や定期的な消毒、従業員の体調確認やマスクの着用等、さまざまな感染予防対策を実施しています。また、全車両で、抗菌・抗ウイルス対策のための車内コーティングを施工しました。

西武バス
お問い合わせ 都市整備部 管理課交通担当

△全車両で車内コーティング
出典：西武バス（株）

△飛まつ感染防止シート
出典：京王自動車多摩西（株）

△二人乗りベビーカーの乗り方
出典：東京都交通局

△JR東日本アプリ
出典：東日本旅客鉄道（株）八王子支社

△車内のすべての空気が約5分で入れ替わる
出典：西東京バス（株）

△全車両で車内コーティング
出典：西武バス（株）

4. 小学校交通環境学習

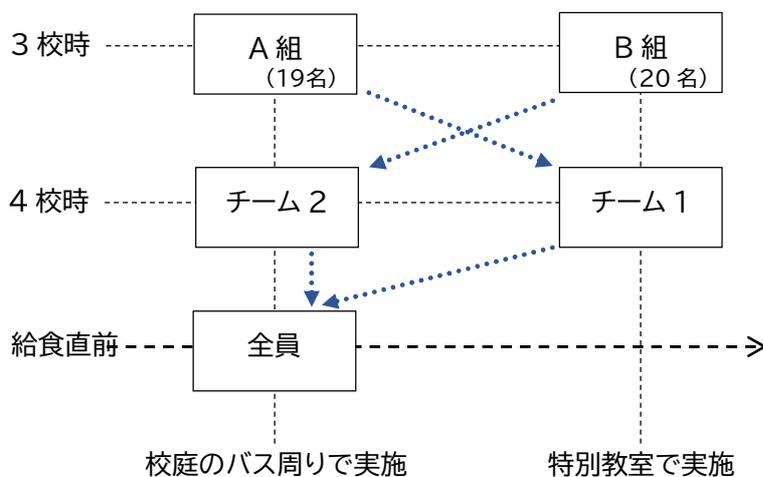
(1) 概要

- 令和3年12月10日(金曜日)の3・4校時に、青梅市立吹上小学校で、第2学年の児童53名を対象に実施しました。
- 座学では、市内の公共交通(鉄道、路線バス、タクシー)の役割などを学びました。
- 乗車体験では、東京都交通局様のご協力のもと、実際の路線バス車両を使い、車両周辺の危険性を知ることや、乗車方法・乗車マナーなどの説明を受けました。
- 学習後、持ち帰りアンケートを配付し、家庭で公共交通を話題にしてもらうことで理解を深める取り組みを実施しました。

(2) 取組と時間割

- 2コマの授業を実施するとともに、家族を含めた話し合いを行ってもらうため児童に持ち帰りアンケートを行いました。

2 コマの授業		持ち帰りアンケートによる 家族を含めた話し合い
座学	路線バス乗車体験	
<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通とは ・利用の推移 ・高齢者の事故の増加 ・小学生高学年や中学生になると、公共交通を利用できるようになる ・地図上で吹上小学校から出かけよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス周りの危険性 ・乗降の方法 ・マナー ・運転士等によるお話(どんなこと聞きたい?) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(授業の家族への報告を踏まえ)感想を書いてもらう。



体験した児童には、都営バスからプレゼント(色鉛筆、学習帳、画板、…)

(3)座学の結果

○以下の順番で行いました。

1. 市内の鉄道、路線バス、タクシー車両の写真
2. 他都市の写真
3. 公共交通について考える
 - ・公共交通とは？
 - ・公共交通でない乗り物は？
4. 地図をみて公共交通を考える
 - ・質問：市内の駅の数？。バス停の数？。
タクシーがいつも停まる場所？
5. 公共交通は必要か
 - ・青梅市の高齢者数の増加（高齢者は運転が難しくなる）
 - ・運転のできない人は、どうしたらよいか
 - ・公共交通は大切か

-
6. 鉄道とバス路線のある地図を配布
 7. 地図をみて公共交通を使い、吹上小学校から河辺駅、また青梅駅に行く
 - ・行き方は？、料金は？、時間は？
 8. 公共交通ガイドを配布



市内の公共交通の紹介
(大型テレビで、この乗り物わかる人?)



地図をみて公共交通を考える
(配布された地図をみて考える児童ら)



地図をみて公共交通を考える
(河辺駅から青梅駅までお金はいくら?)



大きなゲスト!



みんなくるとのふれあい

(4)路線バス乗車体験の結果

○以下の順番で行いました。

1. バス周りの危険

- ・内輪差
- ・リアオーバーハング

2. 乗車

- ・バスに乗車する際の支払い方法を選択
- ・乗車方法、乗車マナー
- ・車いすバリアフリー
- ・質疑応答

3. 運転席に一人ずつ

- ・死角のチェック
- ・運手席体験

4. まとめ

- ・体験したことをノートに整理



最初に、あいさつ



バス周りの危険



乗車体験(降車時)
(ICカードの人は、タッチ!)



車いすの乗車方法
(反転式スロープ板と車いす固定装置を見学)



運転席で死角のチェック
(児童は運転席に着座)

(5)持ち帰りアンケート結果

- 家に戻って感想文を書いてもらい、41人から提出がありました。
- 教室での感想と校庭のバス体験の感想を分けて書くこととしていましたが、実際には子供は両方の経験を一体化して記憶している場合が多く、入り混じった体験の感想文が多くありました。このため、まとめでは、それを推定したうえで分類します。
- 全体として楽しく、いろいろ学んだという感想が多く、否定的な感想は見られませんでした。

1. 特別教室で公共交通を考えたこと

①はじめて知ったこと

- 青梅に電车站やバス停が沢山あることや、電気バスへの興味が高いです。

- ・バス停や駅の数、一杯ある、200もバス停がある： 11人
- ・イケバス、電気で動くバスがある： 7人
- ・バスや電車などについてわかった
 - 鉄道や路線バスのこと： 4人
 - バスや電車での移動時間について(学校—河辺—青梅駅)： 4人
 - タクシーが駅でひろえる： 4人
 - ケーブルカーがある： 2人
 - 電車、バスやタクシーの名前： 2人
 - 長いバス： 1人
- ・その他
 - 青梅の町が分かった、広い： 2人
 - 年をとると運転できない： 1人

②楽しかったこと

- バスの地図をもらえたり、それを使って移動してみたりの体験と、みんくるの2つを楽しいとした人の割合が高いです。

- ・地図をもらったこと、地図を使ったこと： 9人
- ・みんくとふれあえたこと： 9人
- ・いろいろな乗り物が楽しい： 3人
- ・1名の回答
 - 解説が楽しい
 - 好きなことなので楽しい
 - いろんなことが勉強につながった
 - クイズみたいで楽しい
 - 発表できてうれしかった
 - 電車の時刻を見れた
 - 青梅に路線バスが3種類いることが楽しい

③むずかしくてよく分からなかったこと

- ・地図を見て考えること： 1人
- ・電車の名前： 2人
- ・クイズが難しい： 2人
- ・もし電車が無かったら： 1人

2. 二年生教室と校庭で、路線バスの乗り方などを学んだこと

①はじめて知ったこと

○バスの死角があることが一番印象に残ったと思われます。また車いすの利用ができるように工夫されていることにも関心が集まっています。

- ・バスから見えないことがあり危険： 10人
- ・ミラーがあること、ミラーで見えること： 4人
- ・車椅子でも乗れること、入り口にスロープがある： 9人
- ・スイカ、パスモが使えること： 3人
- ・バスにお金を払うこと、料金が100円： 1人
- ・朝一番が5時34分、最終が11時であること： 1人
- ・バスの天井が高いこと： 1人
- ・バスに非常ドアがあること： 1人
- ・路線バスに78人のれること： 2人
- ・すごく大きかった、重量が140トンだった： 2人
- ・バスの中には色々なものがある： 2人

②楽しかったこと

○運転席に乗れたことが圧倒的に喜ばれていますが、またバスにこれまであまり乗った経験がなかったためか、バスに乗れたこと自体が楽しかったようです。

- ・バスにのれた、はじめてのれた： 12人
- ・運転席にのれた： 20人
- ・バスの天井が高かったこと： 1人
- ・バスを生で見れたこと： 1人
- ・バスがエンジンかけっていると熱を出す： 1人
- ・先生がみんなでへんな顔になったこと： 1人

③むずかしくてよく分からなかったこと

- ・乗り物を知らなかった： 1人
- ・よくわからない： 1人
- ・運転席のミラーに先生がうつっていたが、数秒だったら気がつかない： 1人
- ・バスの乗り方： 1人
- ・しっかりつかむ： 1人

5. 東京都交通企画課との意見交換

○東京都は、「『未来の東京』戦略」で掲げた、移動困難者を含む誰もが移動しやすい利便性の高い都市の実現に向け、持続可能な地域公共交通網の在り方等について、将来を見据えた検討を進めています。

○そのなかで、都と区市町村が連携して取り組むモデル事例の展開についても検討しており、青梅市が抱える課題等について意見交換を行いました。

東京都打合せ	令和3年10月29日（金）16:00～17:30 東京都都市整備局都市基盤部 打合せコーナー
■出席者：（敬称略） 東京都都市整備局都市基盤部交通企画課地域交通担当 土井統括課長代理、浜口 東京都都市整備局都市基盤部交通企画課調査担当 青木課長代理、雨宮主任 青梅市都市整備部管理課：福島課長、河村主査 アルメックVPI国内事業本部：高尾、倉岡	

■打合せ内容

1. 青梅市の検討状況

- ・青梅市より、人口分布、バス運行状況、公共交通サービス圏域、施設バス（病院やスクールバス）の運行状況について説明。

2. 東京都との取組の方向性

- ・東京都より、令和4年度の取組の提案について説明。
- ・調査項目が青梅市公共交通協議会で予定している検討項目と重複しているので調整が必要。
- ・PT調査分析、人流データ分析（ゼンリン混雑統計を想定）については東京都が担当してもよいのではないか。
- ・取組のステップは、事業スキームや実証運行に向けた検討を行い、実証運行を経たのち、本格運行を行う予定。
- ・運行予約システムについて、内容やスペック等の確認が必要。

3. 自動運転の実証に向けて

- ・東京都の自動運転担当部署より、自動運転に向けた検討状況を説明。
- ・河辺地区で自動運転の実証実験の可能性も含めて検討してほしい。
- ・運行に向けては、交通管理者（警察）との協議が必要である。

協議事項

1. 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

1 評価様式（事務局案）

○本協議会では、今年度の計画策定事業に対し、国土交通省からの補助金の交付決定を受けています。この補助事業の実施要領では、補助対象事業について、協議会自らによる事業の自己評価（一次評価）を行い、その結果を、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに、各地方運輸局等に報告するとともに、公表することとされています。この実施要領にもとづき、別紙のとおり事務局において評価様式の案を作成しました。

(1) 令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）

○別紙（資料2の1ページ目）のとおり

(2) 令和3年度 青梅市公共交通協議会（東京都青梅市）（地域公共交通計画策定事業）

○別紙（資料2の2～4ページ目）のとおり

2 事業評価のスケジュール

○本協議会の自己評価（一次評価）を報告・公表後、各地方運輸局等に設置される有識者からなる第三者評価委員会において審議され、その結果を踏まえて、各地方運輸局等による二次評価案が実施されます。

事業ごとのスケジュール



※1 NW計画：生活交通ネットワーク計画

※2 地域協働推進事業計画の認定

2. 青梅市の公共交通に関する課題整理(一部)

○前回の第39回協議会資料を踏まえ、以下の点について課題を整理します。

- ・時代潮流
- ・上位・関連計画等の整理
- ・青梅市の公共交通に関する状況把握

1 - 1 時代潮流

(1)持続可能な開発目標の提唱

○SDGsの17のゴールのうち、3番目の「人々に保健と福祉を」、7番目の「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、11番目の「住み続けられるまちづくりを」、17番目の「パートナーシップで目標を達成しよう」が公共交通に主に関係し、課題として踏まえることが求められます。



(2)カーボンニュートラルへの挑戦

○多くの国が2050年までに温室効果ガスの排出量をゼロにすることを宣言しており、電動車への移行が求められています。

(3)都市のコンパクト化の必要性

- 人口減少下にある青梅市においては、都市のコンパクト化は必須です。
- 路線バスの維持は、交通サイドだけの検討では限界があり、将来の土地利用を見越したまちづくりとの連携が不可避であり、将来の土地利用に関する方向性を上位計画等で位置付けることが望まれます。

(4)新型コロナウイルスの感染拡大による生活様式の変化

- 公共交通の利用が減少傾向にある中、持続可能な公共交通サービスの提供が必要です。
- すでに各事業者で実施されていますが、コロナ対策とともに、安全であることの周知が必要です。

1 - 2 上位・関連計画等の整理

(1)第6次青梅市総合長期計画、青梅市都市計画マスタープラン、第2次青梅市環境基本計画

○以下の点が課題となります。

- ・利用者ニーズに応じた公共交通網の抜本的な見直し、公共交通網全体の最適化
- ・近隣自治体と連携し、JR青梅線の輸送力の強化、利便性の向上
- ・公共交通の利用促進に向けた取組
- ・鉄道と路線バスのサービス圏外の解消
- ・交通事業者の経営努力を適正に評価する新たな公共負担制度の導入
- ・燃料電池自動車等の次世代自動車について調査研究

(2)将来人口の予測

- 第6次青梅市総合長期計画と第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略において将来人口を予測しています。
- とくに減少率の高い成木地区について、公共交通サービスのあり方を検討することが必要です。
- これから10年間でおよそ1万人減少するとしており、その内訳は、年少3千人減、生産年齢1万1千人減、老年4千人増です。また40年後は、老年人口割合が50%近くになります。利用者の変化を踏まえた公共交通サービスのあり方を検討することが必要です。

1-3 青梅市の公共交通に関する状況把握

(1) 今井1丁目

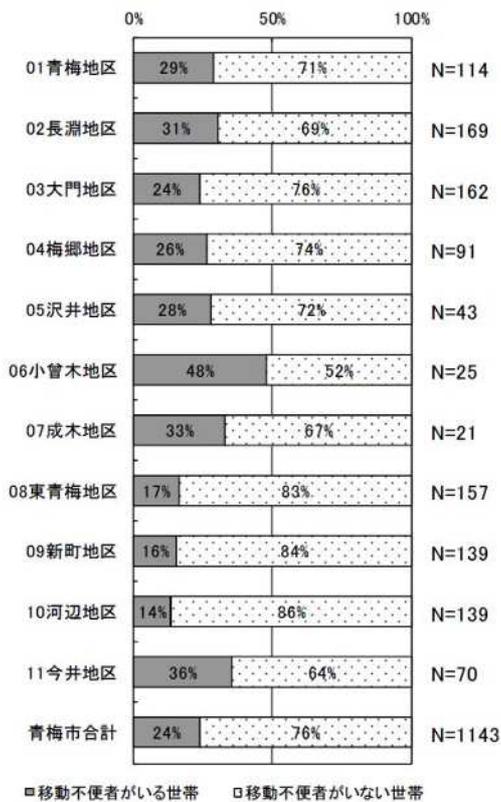
○今井1丁目は人口が多いのにもかかわらず、路線バスからやや離れています。

- ・人口が多く(2,912人)、その動向は、令和3年/平成26年で2%減にとどまる。
- ・65歳以上人口が多い(1,009人)
- ・従業者数が多い(902人)
- ・250mメッシュで40人/ha以上のエリアが連担
- ・今井地区は、移動不便者がいる世帯の割合は36%であり、小曾木地区の48%について高い(平成23年市民アンケートによる)
- ・原今井バス折返し所付近にサイクルアンドバスライドが設置
- ・第39回協議会で「バスが走れる地形、道路状況なのか示すべき」という意見



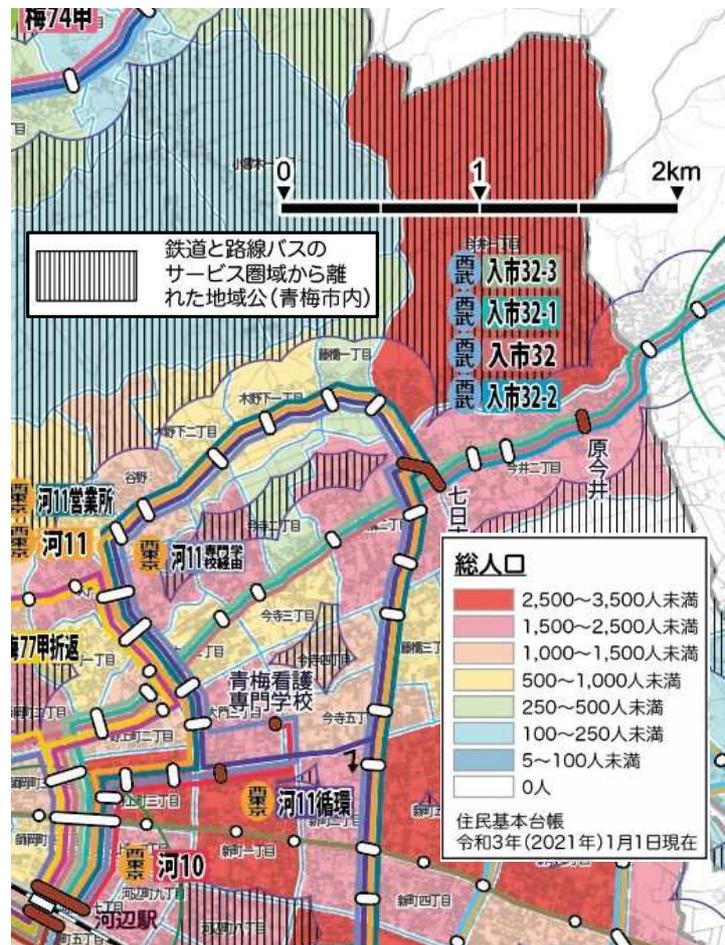
方向性のポイントをご検討ください

移動不便者がいる世帯の割合



出典：青梅市公共交通基本計画

町丁目別人口、鉄道と路線バスのサービス圏域から離れた地域



出典：第39回協議会資料

(2)河辺町6～8丁目

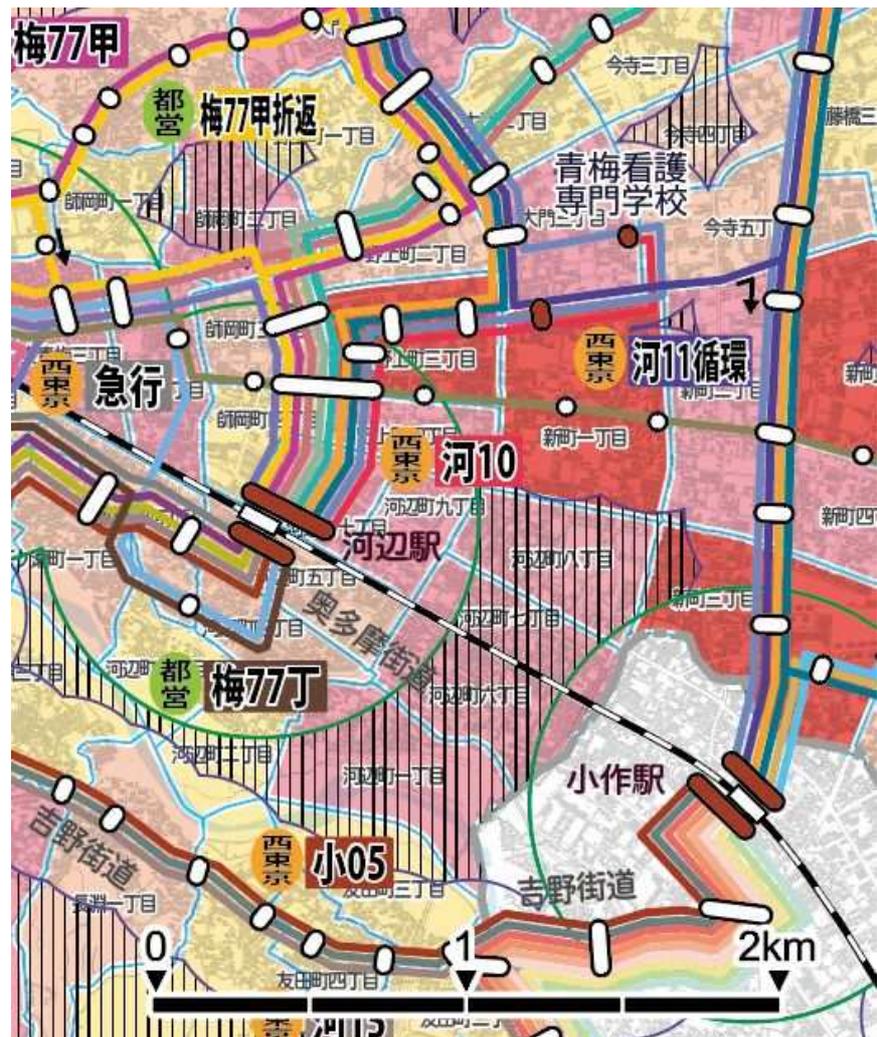
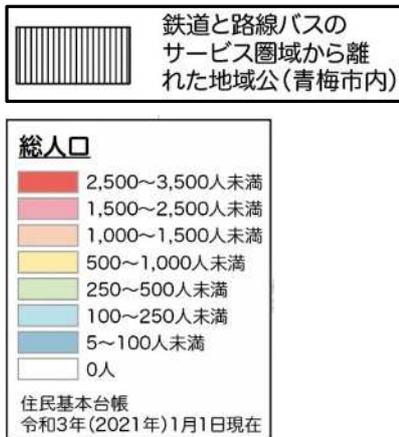
○河辺町6～8丁目は人口が多いのにも関わらず、路線バスがありません。

- ・人口が多く(6, 242人)、その動向は、令和3年/平成26年で5%減にとどまる。
- ・65歳以上人口が多い(6丁目775人、7丁目798人)
- ・250mメッシュで120/ha以上のエリアが連担
- ・第39回協議会で「連担した市街地で街区単位でバスを走らせることがいいのか疑問。路線を分けるとそれぞれの本数は少なくなり、かえって不便になる」、「市街地では、自転車利用が多いのではないか」という意見



方向性のポイントをご検討ください

町丁目別人口、鉄道と路線バスのサービス圏域から離れた地域



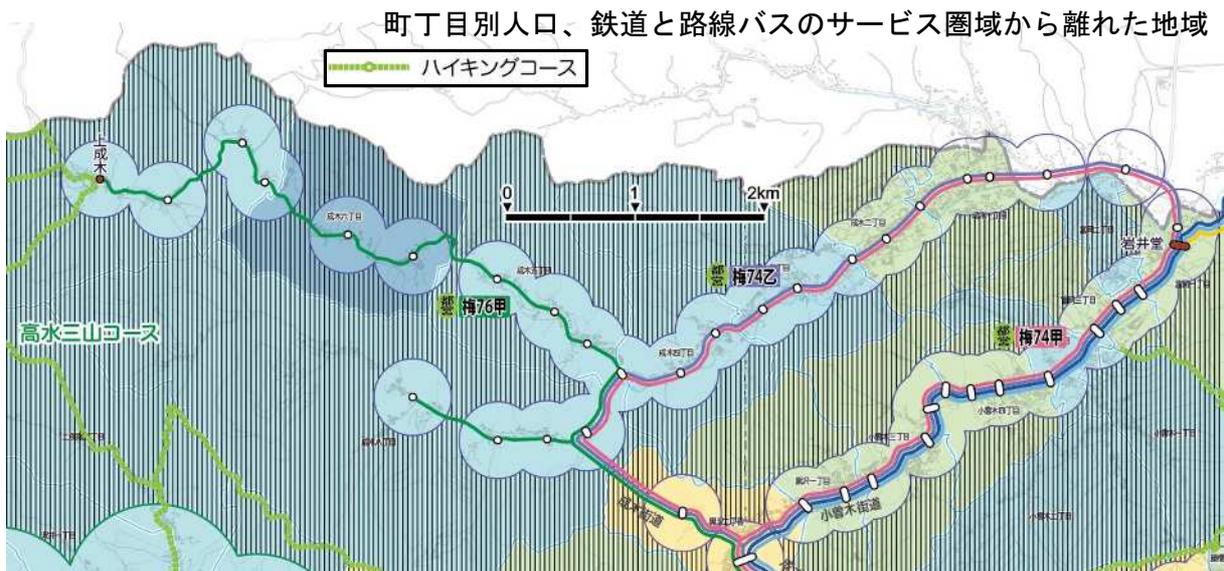
出典：第39回協議会資料

(3)市の北部

○市の北部は、人口が少ない割に、路線延長の長い路線バスが通っています。

- ・令和3年／平成26年の人口動向で、△20%よりも低いのは10町丁目あるが、このうち成木1・2、6～8丁目、富岡1・3丁目の7町丁目が市の北部にあたる
- ・250mメッシュで8/ha未満のエリアが連担
- ・令和2年度の公共負担は、梅74が2,842万円で、梅76が2,136万円
- ・平成25年3月に策定された「青梅市公共交通基本計画」で、梅74および梅76は、路線の短縮とゾーンバス導入を検討例として掲げている。
- ・上成木を起終点とするハイキングコースがある
- ・第39回協議会で「バスが運行されないと、通学等の日々の生活に支障をきたす人が出てくる」という意見

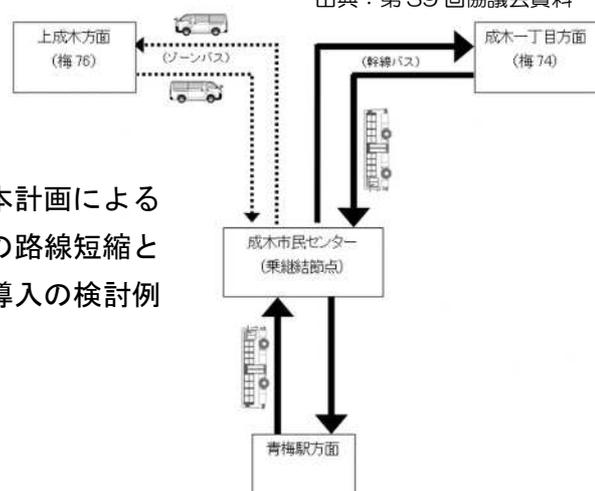
⇒ 方向性のポイントをご検討ください



鉄道と路線バスのサービス圏域から離れた地域公(青梅市内)



青梅市公共交通基本計画による
梅74・梅76の路線短縮と
ゾーンバス導入の検討例



出典：第37回協議会資料

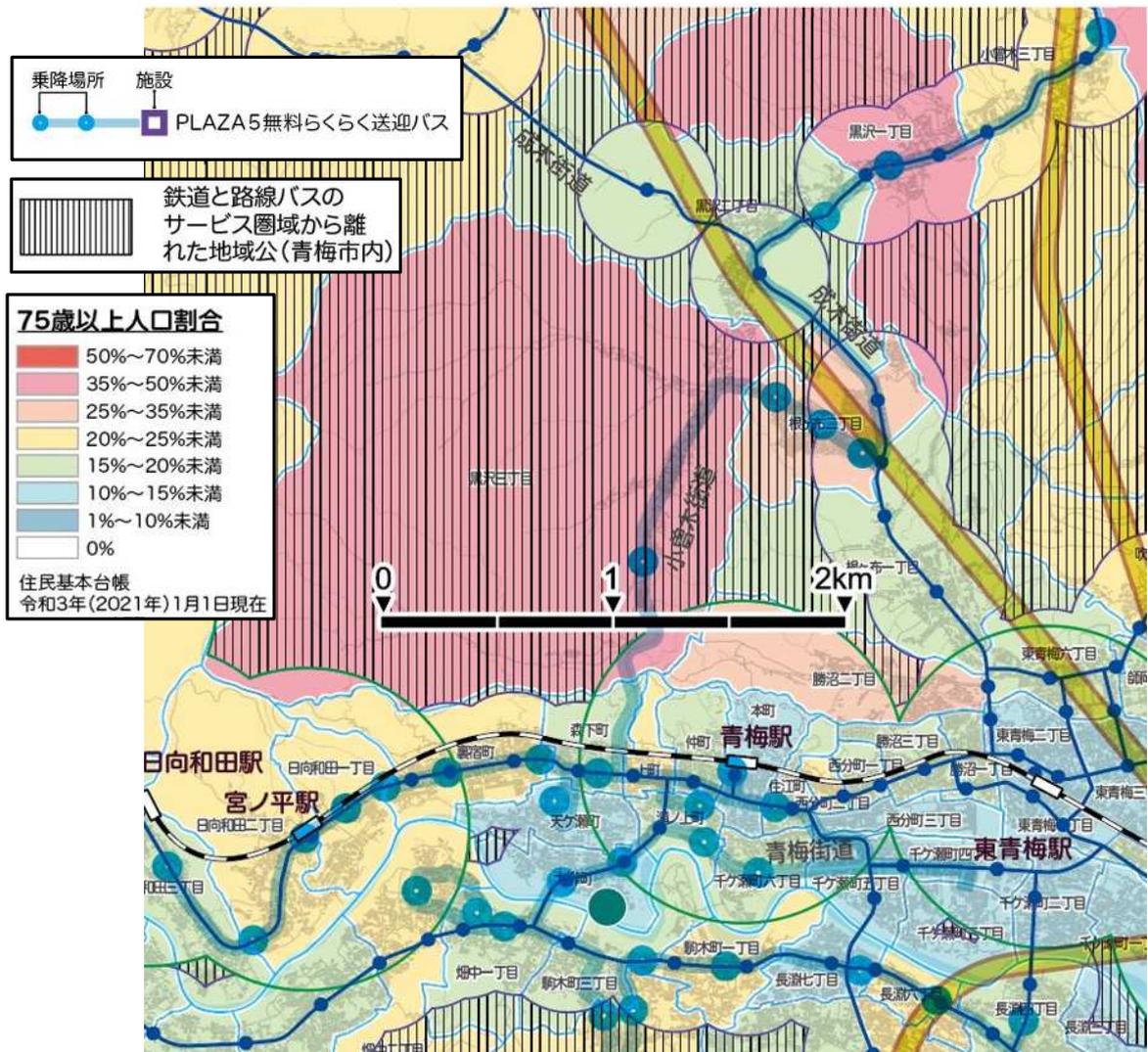
(4)黒沢三丁目

○黒沢三丁目には、路線バスがありません。

- ・75歳以上の人口割合が41.6%であり、市内の町丁目のなかで最も高い
- ・小曾木街道沿いに集落が点在しており、PLAZA5無料らくらく送迎バスが運行

⇒ 方向性のポイントをご検討ください

町丁目別 75歳以上人口割合、鉄道と路線バスのサービス圏域から離れた地域



◇PLAZA 5 無料らくらく送迎バス

コース	時間帯	運行本数(平日)		備考
		青梅駅発	プラザ5発	
青梅駅シャトル	9~16	10	12	火曜日・土曜日
青梅街道コース	9~14	日向和田駐車場発 5	プラザ5発 5	水曜日・日曜日
小曾木街道コース	9~15	小曾木市民センター発 5	プラザ5発 6	木曜日
長淵・駒木・畑中循環コース	8~14	小曾木市民センター発 5	プラザ5発 4	金曜日

出典：第39回協議会資料

(5) 河辺町1～3丁目地区

○JR青梅線の利用者が減少しています。

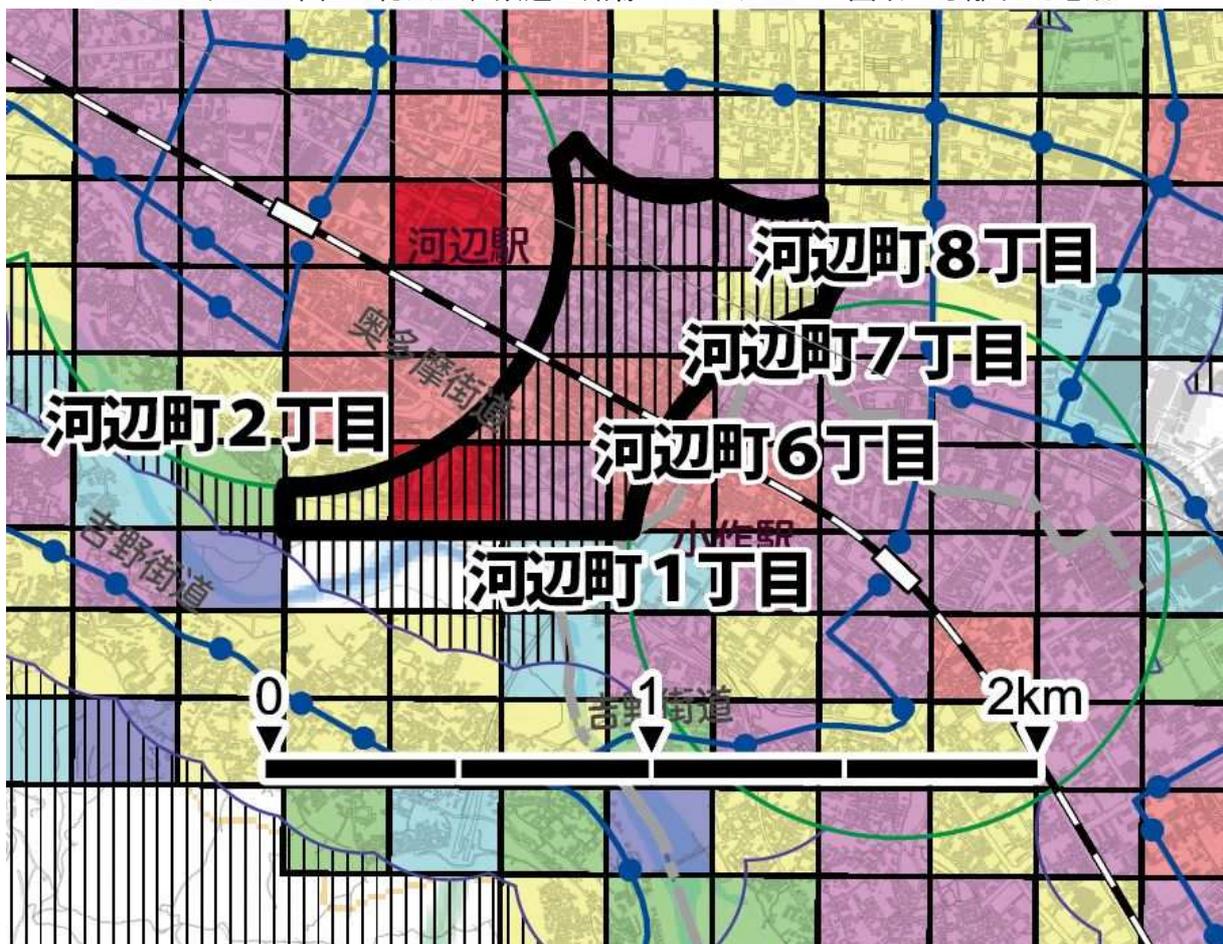
- ・鉄道と路線バスのサービス圏域から離れた地域のうち、40人/ha以上のまとまった地域は10地域みられるが、最大は、河辺町1・2・6～8丁目周辺
- ・河辺町1～3丁目地区は、令和元年度に、交通に関する困りごとなどについての住民ワークショップを実施し、令和2年度に、新たな地域公共交通の利用意向を把握するためのアンケートを実施

方向性のポイントをご検討ください



⇒3. 河辺町における新たな公共交通の需要予測のところで、令和2年度アンケートを踏まえた、需要予測と収支の試算を示しています。

250メッシュ単位の総人口、鉄道と路線バスのサービス圏域から離れた地域



総人口(250mメッシュ)	
	1,000人以上
	750～1,000(160人/ha)人未満
	500～750(120人/ha)人未満
	250～500(80人/ha)人未満
	150～250(40人/ha)人未満
	50～150(24人/ha)人未満
	1～50(8人/ha)人未満

平成27年国勢調査(地図で見る統計(JSTAT MAP))

鉄道と路線バスのサービス圏域から離れた地域公(青梅市内)

出典：第39回協議会資料

(6)JR青梅線

○JR青梅線の利用者が減少しています。

- ・JR河辺駅、東青梅駅、青梅駅の令和元年度の乗車人数は961万人であり、最近では平成25年値をピークに減少傾向
- ・令和2年度に、青梅市立第6小学校(校長先生)に、事務局とJR東日本が訪問し、児童らが青梅線を利用していることから、青梅線の活性化について方策を協議



方向性のポイントをご検討ください

⇒4. 公共交通の利用促進策の提案のところで、「青梅線と沿線地域の活性化のための応援隊」を示しています。



出典：第39回協議会資料

3. 市民参加型の公共交通利用促進策の提案

○市民のマイレール・マイバス意識を醸成するため、当協議会が主体となり以下の取組を提案します(次ページ以降に詳細)。

- (1)公共交通写真展
- (2)公共交通サポーター
- (3)公共交通検定
- (4)青梅線を活性化する応援隊

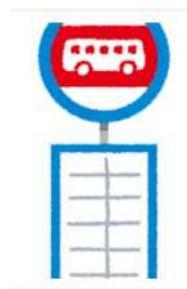
○次年度から、なにか一つ実施できれば良いと考えます。



方向性のポイントをご検討ください

(1)公共交通写真展(案)

- バス停をテーマ(被写体)にした写真展を実施します。
- 「広報おうめ」で写真を募集し、優秀作品は表彰します。
- 路線バス利用者が増え、関心が高まり、バス停やその周りがかっこよくしたいという人が増えることを期待します。



1. 概要	①写真の募集対象	<ul style="list-style-type: none"> ・市民(小学生の部、中学生の部、高校生の部、成人の部) ・青梅市来訪者
	②募集する写真	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅市内の四季折々の風景、街並みなど ・必ずバス停が写っていること(別案:バス車体でもOKにする) ・人物は特定できないこと
	③募集後の企画	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の表彰(全体、部門別) ・賞品提供(年間乗り放題パス、青梅市特産品、市内店舗のクーポン、公共施設利用券など) ・応募写真の展覧会
2. 写真展後の企画	<ul style="list-style-type: none"> ①美しい青梅バス停巡りイベント ②写真の観光パンフ、ホームページ等への掲載 ③魅力あるバス停づくり運動 	
3. 効果の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・写真へ応募しようと思う人がバスを利用する ・写真を見てバス停に行こうと思う人がバスを利用する(市内の人、観光客) ・バス交通全体への関心が高まる ・バス停やその周りがかっこよくしたいという人が増える ・青梅市がバス停で全国的に有名になる 	

(2)公共交通サポーター(案)

- サイクルアンドバスライドを設置してもなかなか利用されない状況がみられます。地元住民を巻き込んだバス待ち環境の向上が望まれます。
- こうした課題を解決するために、公共交通サポーター制度を整備します。



誰がサポート？
どの公共交通に？
どんなサポート？
どうする方法で？

- ①「広報おうめ」でサポート団体を募集
- ②協議会と応募した団体(団体はいくつでもOK)との間で協定書を締結
 - ・町会や自治会、有志
 - ・商店会、企業
 - ・小中学校
- ③協議会の支援のもとに、各団体で地域特性に応じたサポート事業を開始。以下は例
 - ・清掃・維持管理(住民)
 - ・バス停等敷地の提供(商業施設、病院)
 - ・買い物無料券(商店街)
 - ・乗車券の販売(住民)
 - ・バス待合所の建設(建設組会)
- ④特典？



出典：地域公共交通の利用促進のためのハンドブック～地域ぐるみの取組～（国土交通省／平成25年5月）

サポート事例の概要

サポート内容	サポート実施内容等	サポート実施主体	交通機関	実施場所
清掃、維持管理	待合所の整備とベンチの制作	飯田高校 珠洲ロードアクトクラブ	路線バス	石川県 珠洲市
バス停等敷地提供	商店や医院におけるバス停の設置	ドラッグストア	コミュニティバス	長野県 立科町
パーク＆ライド	パーク＆ライド駐車場の提供	電車存続既成同盟会	鉄道	長野県 上田市
案内マップ	外国人向け観光マップ	通訳案内士	路線バス	新潟県 佐渡市
MM・ノーマイカーデー	大学と提携したバスの運行	東京理科大学	路線バス	長野県 茅野市
買い物で無料券	共通乗車券の販売と買い物客への進呈	高岡市中心商店街	路面電車	富山県 高岡市
	大規模商業施設と行政のWin-Win関係によるバス運行	イオン新発田SC	市街地循環バス	新潟県 新発田市
乗車券販売	住民賛助会員制による乗車券の販売促進	NPO法人七葉	コミュニティバス	新潟県 新発田市
	住民での乗車券販売促進、商店街のスペースを待合所として提供	運行協議会	乗合タクシー	石川県 加賀市

出典：公共交通利用促進に向けた地域のサポート事例集（国土交通省北陸信越運輸局／平成22年3月）

(3)公共交通検定(案)

○公共交通に関するご当地検定を行い、市民の関心を高めます。

①協議会メンバーが問題を作成

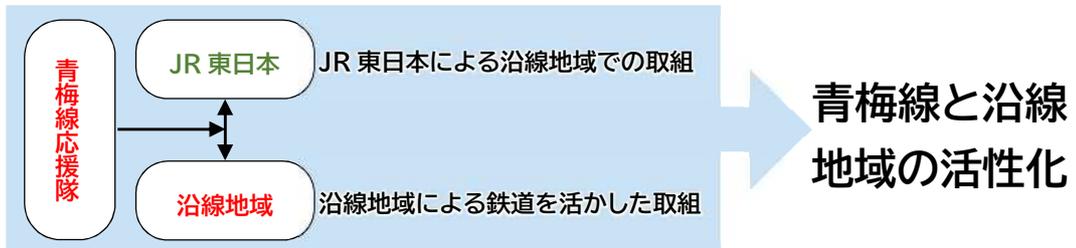
- ・青梅の魅力や活力を公共交通で紡ぐ問題
- ・青梅線沿線の公共交通に関する問題
- ・青梅市内の公共交通の技術的な問題 or サービスの問題
 - ・路線バス編
 - ・タクシー編
 - ・JR青梅線編
- ・年齢に応じた問題
 - ・小学生
 - ・中学生
 - ・高校生
 - ・大人

②検定試験の実施

③高得点者を表彰、ほか特典

(4)青梅線を活性化する応援隊(案)

- 青梅線と沿線地域を活性化するために、沿線自治体等が連携して青梅線を応援する組織を発足させます。
- 青梅線応援隊が、JR東日本あるいは沿線地域の取組について架け橋(窓口)となります。



JR 青梅線と沿線都市



4. 市民アンケート案

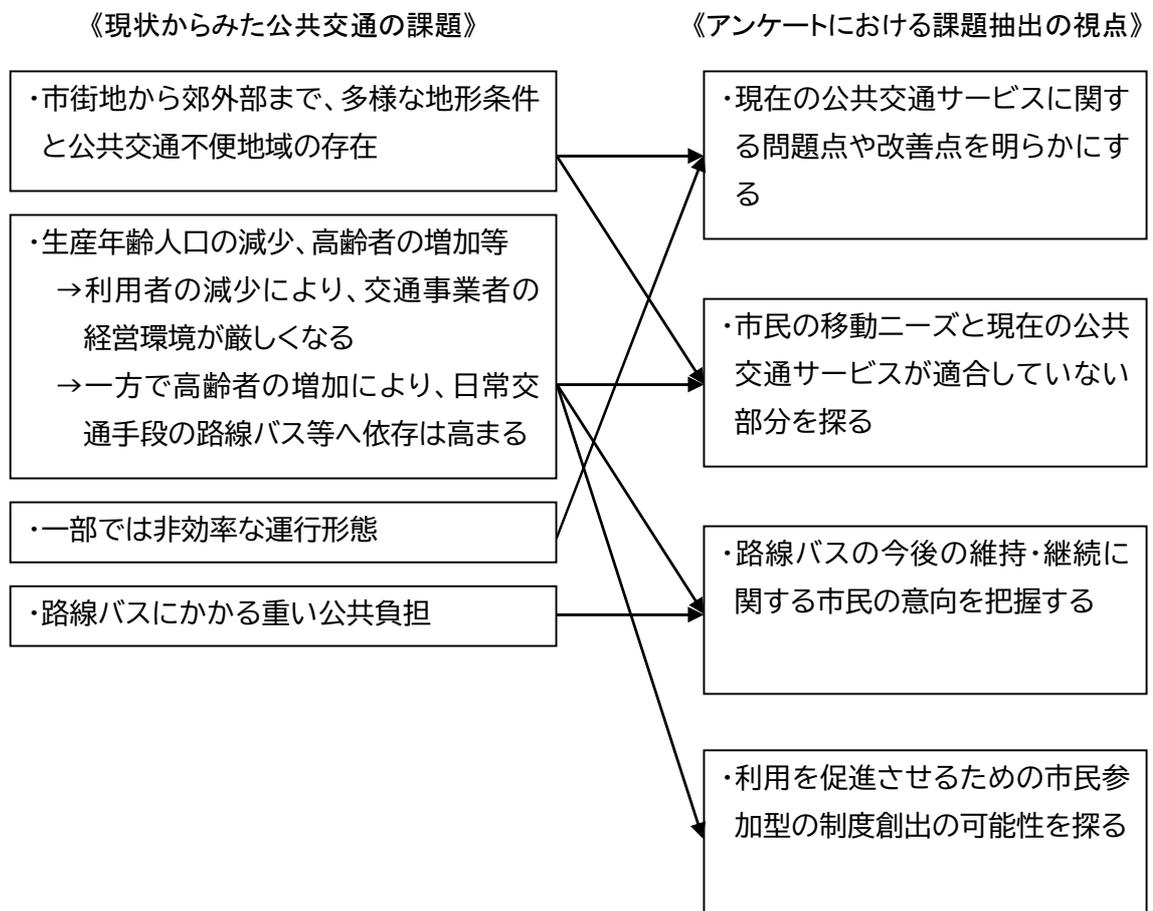
(1)実施概要

- 市民アンケートの目的は、市民の日常生活における移動を支える公共交通サービスに関する課題を抽出するとともに、公共交通網の見直しに向けて市民の意向を反映することです。
- アンケートは、満18歳以上の市民を対象に3,000名を無作為に抽出し、郵送により配布・回収します。
- 発送元は青梅市公共交通協議会とし、回収先は受託者の株式会社アルメックVPIとします。
- 配布時期は令和4年2月初旬、回収期限は2月中下旬を予定します。

(2)課題抽出の視点と構成案

- アンケートにおける課題抽出・市民の意向把握は、現状からみた公共交通の課題を踏まえて、以下の視点に沿って設問を構成します。
- 次ページに、構成案を示します。

市民アンケートにおける課題抽出の視点



市民アンケートの構成（案）

設問	設問のねらい	設問内容
1. 属性・属地	・現状を把握する(クロス対象)	・住まい／11の地区区分(青梅、長淵、大門、梅郷、沢井、小曾木、成木、東青梅、新町、河辺、今井) ・世帯構成 ・自宅近くにある利便施設の有無 ・性別、年齢(18歳以上を対象)、職業 ・自動車の運転免許証の所有 ・自動車やバイク、自転車の所有 ・コロナ流行による公共交通の利用の変化 ・最寄りの駅、最寄りのバス停
2. 外出時の困難	・市民の移動ニーズと公共交通サービスが適合していない部分を探る	・出発地、目的地、移動目的、出発時刻、頻度 ・困っている理由
3. 公共交通の利用	・鉄道と路線バスの利用状況を把握する	・利用している駅とバス停 ・その駅またはバス停までの交通手段、時間、利用目的、利用時刻、利用頻度
4. 路線バスの改善点の明確化	・利用者から見たバスサービスの問題点や改善点を探る	・現在のバスサービスに対して不満を感じていることは何か(不満度が高く、かつ重要度が高い項目の抽出) ・路線ごとに違いはあるのか
5. 路線バスに対する意向把握	・路線バスの今後の確保維持に関する市民の意向を把握する	・バス路線の必要性について ・公共負担に関してどの程度知られているのか ・公共負担に関して市民はどうしていきべきと考えているか ・必要最低限のバスサービスレベルはどの程度か
6. JR青梅線、タクシーに対する意向把握	・どのようなことに課題があるのかを探る点	・JR青梅線またはタクシーを利用しやすくするために必要なこと
7. 公共交通全般に関する意向把握	・利用を活性化させるための市民参加型の公共交通利用促進策の実施の可能性を探る	・主体的に、利用を活性化させるための市民参加型の公共交通利用促進策があるか ・自由意見

(3) 挨拶文とアンケート票(案)

○別紙(資料3)のとおり